

西宮市議会議員

まさたけ

初志をいつまでも忘れず
行動し続けます。

田中正剛

市政・市議会報告

<http://www.masatake.jp/>



税金のゆくえ ～平成24年度予算

財政健全化のためには、まだまだ解決すべき課題があります。

平成24年度予算は、一般会計1,597億円、特別会計と企業会計を合わせて総額2,844億円となりました。目的別の内訳は下表のとおりとなっており、子ども手当(約30億円減)や年少扶養控除の廃止など国政の影響も大きく受けています。

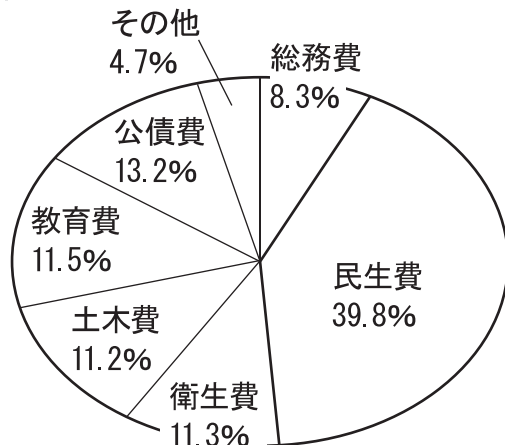
財政の健全性を表す経常収支比率は未だ100%を超えており(概ね80%台が健全)、市税収入も約6億円減少の803億円と見込まれています。なお、現在大きな課題となっている病院事業費(中央病院への補助金や出資金等の)は約18億円と見込まれています。

高齢化への対応、公共施設の維持・再整備、待機児童対策、病院の移転問題、アサヒビール

跡地問題など直近の課題が山積しています。いずれも、後世に負の遺産としてツケを残すようなことのないよう取り組まなければなりません。そして、財政健全化のためには、民間委託や民営化による市政運営の効率化、人件費の抑制、必要性の低くなった事業の取捨選択など不断の取り組みが必要です。財政健全化を軽視すれば、現在の国政と同様に最後に負担を強いられるのは私たち市民です。

市政ではそうした事態に陥ることのないよう、提案を続けるとともに、これまでの提案が実現されるよう取り組んでまいります。

■新年度予算の目的別支出の内訳



一般会計合計:1,597億円(前年1,741億円)
経常収支比率:100.8%(前年101.1%)

目的別経費	主な内容
総務費 (132億円)	市役所・支所・市民集会施設・文化施設等の管理運営、 広報、情報化、防災対策など
民生費 (636億円)	児童福祉費(約218億円)、老人福祉費(約17億円)、障害 福祉費(約80億円)、生活保護費(約142億円)など
衛生費 (181億円)	健康増進・救急医療関連(約46億円)、ゴミ処理・清掃関 連(約96億円)、病院事業費(約18億円)など
土木費 (179億円)	道路橋梁・都市計画事業等(約116億円)、下水道事業 (約55億円)、市営住宅管理(約38億円)、公園管理など
教育費 (183億円)	学校教育・学校施設管理(約133億円)、図書館・公民館 等社会教育(約22億円)、給食(約19億円)など
公債費 (211億円)	借金の返済
その他 (75億円)	議会(約10億円)、商工(約8億円)、消防(約53億円)など

これまで皆様から頂いたご意見に基づいて、本会議や委員会等で
提言してきた政策が少しずつ反映されています。

新年度の主要な事業のうち、これまで私が提言を重ねてきた政策を中心に
ご報告します。

■子育て・教育環境の向上

○スポーツ推進計画の策定：210万円(130万円増)

中央体育館や陸上競技場の再整備など施設整備は、市のスポーツ政策・ビジョンに基づいた施設整備が重要と主張してきました。その基となるべき大事な計画策定が本格化します。

○放課後子ども教室：970万円(510万円増)

学校をはじめとした既存の施設を活用した放課後の遊び場・学習の場づくりが、各地域で地域の方々との協働で進められています。

○公立私立間における幼稚園保育料の

格差是正：6億1,700万円(5,400万円増)

公立私立間での保護者負担の格差是正は、着実に進められていますが、今後も議会での提言が必要と考えています。

○図書館のサービスの向上：1100万円

業務を一部民間委託し、北口図書館の開館が1時間早まり、午前9時の開館となりました。今後、指定管理者制度の導入によるサービス向上

についても調査を進めたいと考えています。

以下、項目と予算額のみ掲載します。

■安心・安全のまちづくり

○津波避難施設等看板設置事業：3,800万円

○地域防災マップ作成業務：460万円(400万円増)

○道路照明灯更新事業：4,500万円

○病院移転整備基本計画の策定：3,000万円

■場当たりの行政運営からの脱却

○計画的な舗装補修事業：5,000万円

○公共施設マネジメント：580万円(前年と同額)

○中長期修繕計画事業：2億6,300万円(1億2,000万円増)

■その他

○住宅用太陽光発電システム設置補助：4,500万円(3,300万円増)

○その他プラスチック分別収集：2,500万円

○東日本大震災被災自治体への応援に関する経費：2,100万円

※（ ）内は前年度比較で、表記のないものは新規

■一般会計の主な性質別支出と平成24年度末の貯金と借金の見込み

主な性質別支出		予算額	前年度比較	備考
消費的経費	人件費	340億円 (21.3%)	5億円減 ↓	抜本的な給与制度の見直しを行ったものの、その効果は年間わずか3億円程度の抑制しか見込めず
	扶助費	406億円 (25.4%)	14億円減 ↓	子どものための手当給付費:90億円(29億円減) 生活保護扶助費:136億円(2億円増)
投資的経費		139億円 (8.7%)	90億円減 ↓	東部総合処理センター整備事業:41億円(30億円減) 小学校耐震補強事業:10億円(5億円増) 民間保育所等整備事業:5億円(3億円減) 市役所前線街路事業:8億円(3億円増)
他会計への繰出金		97億円 (13.2%)	10億円増 ↑	国民健康保険事業費:43億円(約8億円増) 介護保険事業費:39億円(2億円増)
基金(貯金)残高見込		165億円	40億円減 ↓	使途自由の「財政基金」及び「減債基金」:123億円
借金残高見込		1,695億円	40億円減 ↓	市民1人当たりの借金:35万円(0歳～)

外部監査人からも、公立の経費が民間（私立）に対して非常に高くなっている現状を改善すべきと指摘を受けています。

平成23年度は、子育て支援に関して包括外部監査が行われ、その報告書で下図が示されました。園児一人あたりの公費投入額と保護者負担額の合計が運営経費となります。保育所では、特に0～2歳の保育では、公立の方が保育士の配置人数が多く、運営経費が非常に高くなっています。一方、満足度調査では、民間の方が公立よりも保護者の満足度が高いというアンケート結果が示され、民間の方が少ない経費を運営努力でカバーし、良い保育が行われていることが示されました。現在、市は待機児童の解消を優先するとして、「公立保育所の民間移管計画」を止めています。私は待機児童の解消と保育所民営化は本来全く別問題であることを指摘し、経費削減の観点から（満足度の高い）民間への移管を進めるべきと主張しました。

幼稚園は、公・私で公費投入額に大きな差があります（月額約3万4,500円）。また、同じ4・5歳を対象とする公立幼稚園と民間保育所では、子

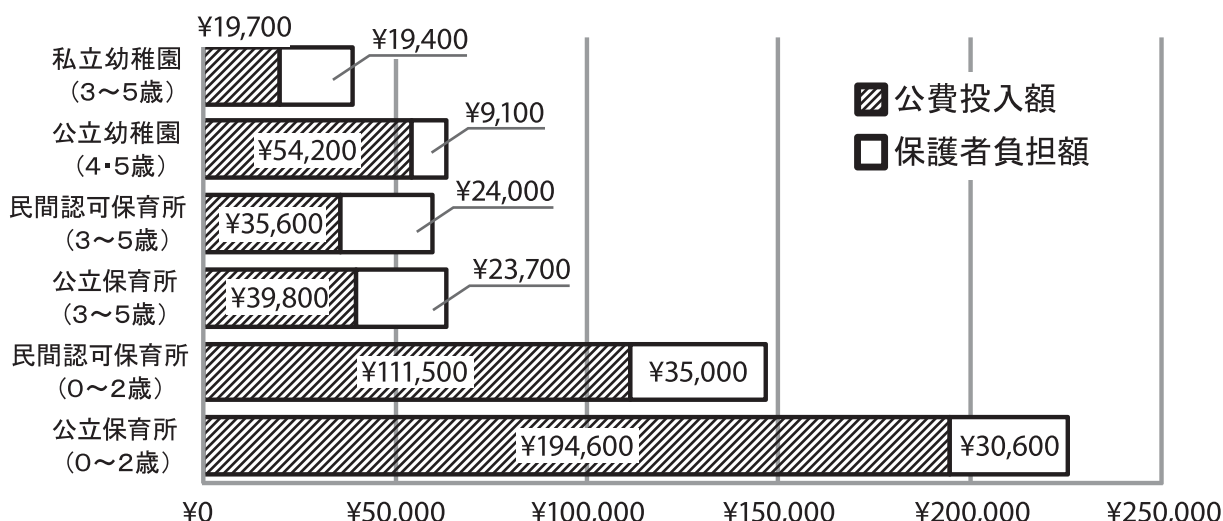
どもを預かる時間が半分以下にもかかわらず、公費投入額は逆に幼稚園の方が月額18,600円も高くなっています。待機児童の解消のために次々と新しいハコを作る前に、高コスト体質の公立幼稚園を効率的かつ良質の民間保育所へと転用するなど、既存施設を有効活用すべきです。

外部監査人からは、公立の幼稚園、保育所ともに大幅な経費削減が必要と指摘されました。私は、本会議での質疑によって、人件費の削減のほかに大幅に経費を削減する方法はないことを明らかにしました。そして、人件費の削減に消極的な市に対して、民間活用を早急に着手するべきと指摘しました。

今後も、子育て・教育環境の向上について重点的に取り組んでまいります。

包括外部監査…従来の内部監査とは別に、市と契約した公認会計士など専門家が毎年1つのテーマを決めて、効率性や有効性などの観点から市の財務に関する事務の執行等を監査します。

■保育所と幼稚園の児童1人当たり月額の保護者負担と公費投入額の比較



※1) 金額は端数処理を行っている。※2) 公費投入額は国・県・市の負担額を含む。※3) 私立幼稚園は預かり保育分を含む。※4) 民間認可保育所の保護者負担額には諸費（延長保育等）を含めていない。

3月議会において、中学校へのエアコン設置方針と学校施設の修繕・改築などの基本的な考え方が示されました。

■学校の環境改善

PFI手法(設置工事から維持管理までを民間企業が一括して担う方法)を活用して、中学校の普通教室等490室にエアコンが設置されることが3月議会では発表されました。契約期間は13年、事業費は総額約16億円(設置費用は約13億円、維持管理に光熱費は含まれない)と見込まれています。設置年度は下表のとおりで、従来手法で行うよりも、1年～2年程度早まることになります。そして、経費は維持管理も含めて約5,700万円削減されます。単に安く済ま

中学校	設置工事
浜脇、西宮浜、上ヶ原、甲陵、上甲子園、今津、真砂、鳴尾南、高須	H25年度
大社、苦楽園、平木、鳴尾、浜甲子園、学文、山口、塩瀬	H26年度

せるだけではなく、熱効率のよい自然環境に配慮したものや維持管理がしやすいものなど、民間の創意工夫を取り入れる姿勢が市に求められます。そして、中学校設置後の小学校への設置も求めています。

■学校施設の維持・更新の方針

これまで数年間必要性を主張してきたアセットマネジメント(施設の維持管理の最適化及び施設更新の効率化を図る手法)を取り入れた「学校施設の修繕及び改築における基本的な考え方」がようやく示されました。今後50年間で、少子化により3割が統廃合されると仮定しても、改築・修繕に年平均約36億円、そのうち通常修繕は今後5年間は年平均約1.5億円で、現在の10倍以上の財源を要することが明らかになりました。

「約束」のかたち：市政報告・意見交換会の出前します！

～意見交換会への参加のお申し込みをお待ちしています～

皆さんからのご意見を聞く耳を持ち続けるという約束を果たすべく、これまで、会合やミニ集会、勉強会に呼んで頂くなど、皆様の関心に合わせた市政報告や意見交換会の出前を行ってまいりました。今後も受け付けてまいります。

また、定期的に開催する市政報告・意見交換会も始めました。内容や日程につきましては当方で随時設定して開催していきますので、お知らせの送付をご希望の方は、EメールもしくはFAXにて、お知らせ先をお教え下さい。



田中正剛 たなか まさたけ

昭和50年7月生まれ/大阪府立四条畷高等学校、神戸大学工学部卒業/元市会議員事務所に4年間勤務/平成15年4月に西宮市議員選挙初当選 ■政党: 保守系無所属 ■所属会派: にしのみや未来 ■現在の担当常任委員会: 市民文教常任委員会 ■市議会での主な役職: 建設常任委員会副委員長(1期2年目)、厚生常任委員会委員長(1期3年目)、西宮市監査委員(2期1年目)、フレンド問題特別委員会委員長(2期3・4年目)、病院問題特別委員会委員長(3期1年目～)

ご意見・ご要望・資料のご請求は

西宮市議員 **田中 正剛** 事務所

〒662-0854 西宮市櫛塚町1-14 光永ビル3階
(兵庫県西宮庁舎南向かい)

TEL: 0798-22-5172

FAX: 0798-22-6172

E-mail: nishinomiya@masatake.jp

URL: <http://www.masatake.jp>

